

加工食品の物価及び生産・販売動向

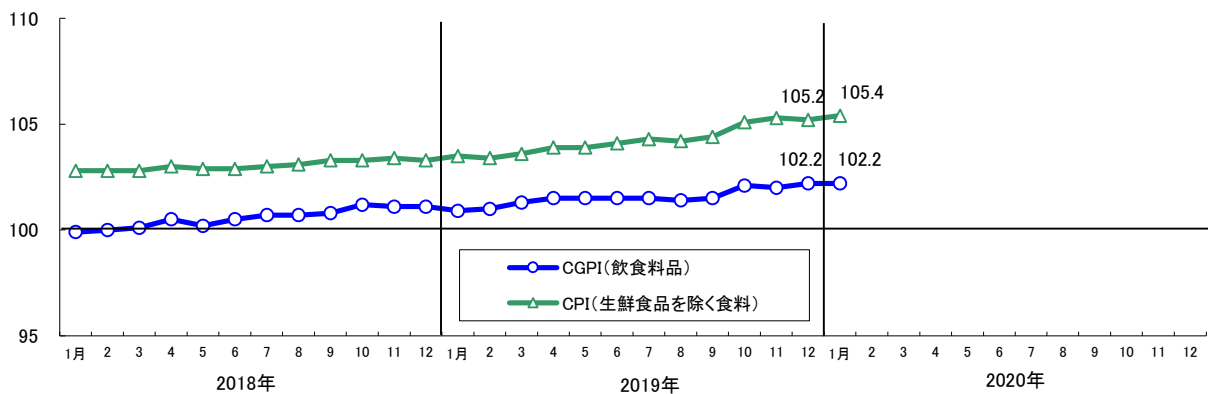
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価および消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年5月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同105.4で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2015年=100



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

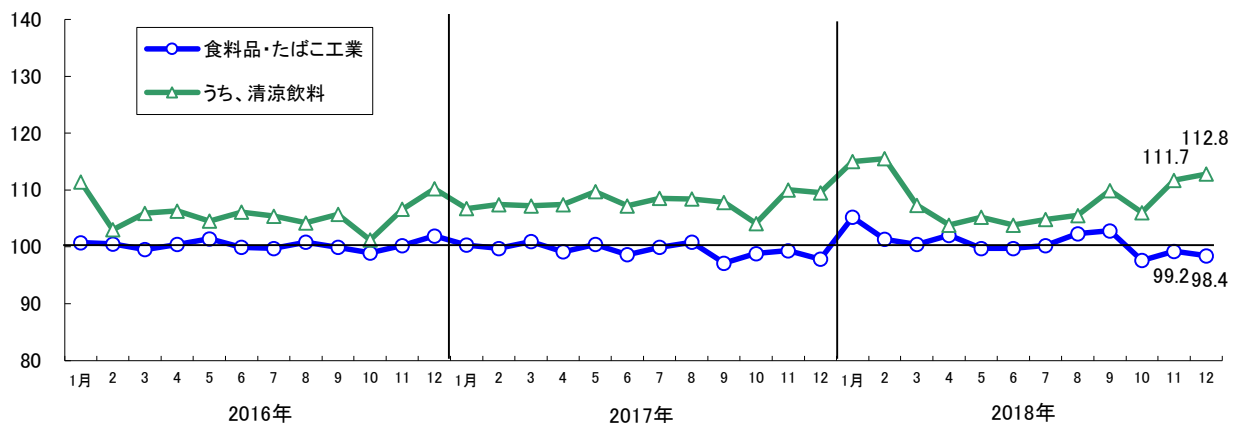
2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比横ばい、清涼飲料については同わずかに上昇

2019年12月の食料品・たばこ工業の生産指数は、98.4で前月比▲0.8%と横ばいとなった。うち、清涼飲料は112.8で前月比1.0%とわずかに上昇した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移

2015年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

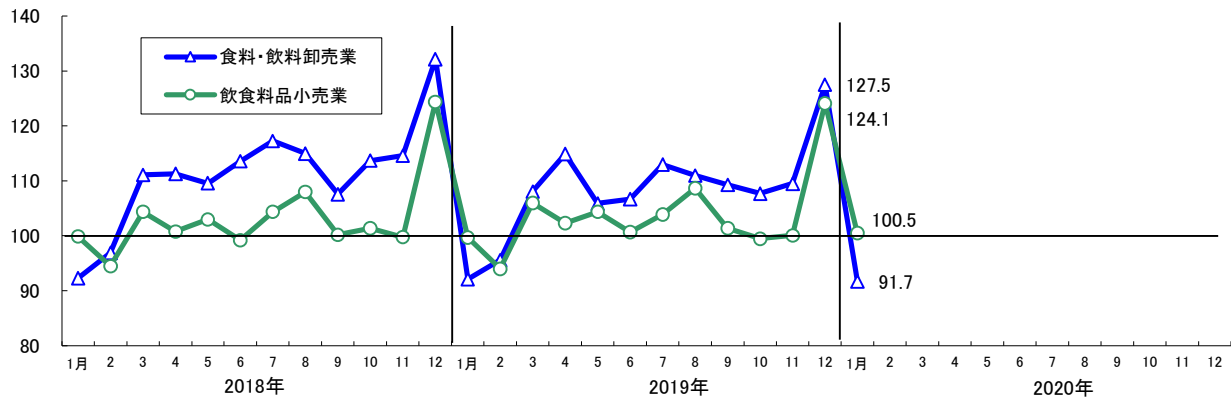
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額及び小売業販売額は対前年同月比で横ばい

2020年1月の食料・飲料卸売業の販売額指数は91.7で対前年同月比▲0.4%と横ばいとなった。飲食料品小売業の販売額指数は100.5で同0.8%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



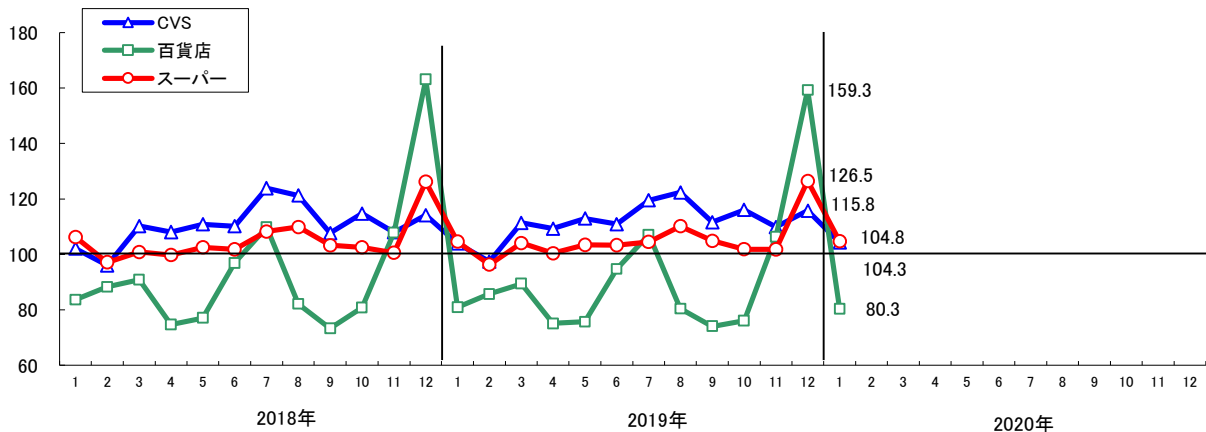
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS、スーパー及び百貨店は対前年同月比で横ばい

2020年1月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは104.3で対前年同月比0.3%と横ばい、スーパーは104.8で0.1%と横ばい、百貨店は80.3で▲0.8%と横ばいとなった。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向 2015年=100



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。